

市民会館跡地等整備対策特別委員会行政視察（概要）

1 視察日 平成31年1月21日（月）～22日（火）

2 視察項目（視察都市）

- ・大和市文化創造拠点シリウスについて（神奈川県大和市）
- ・渋谷区文化総合センター大和田について（東京都渋谷区）

3 参加委員 委員長：塚 理、副委員長：友次通憲
委員：大嶺さやか、青木順子、松本泰典

4 調査概要

大和市文化創造拠点シリウスは、平成28年11月、組合施行の市街地再開発事業により建設された再開発ビルの中にオープンした。地下1階、地上6階、延べ床面積22,900㎡の中に、図書館、メインホール（1,007席）、サブホール（272席）、生涯学習センター、屋内こども広場等を有する「文化複合施設」である。6社の指定管理者による共同企業体「やまとみらい」を運営主体とし、「まるごと図書館」、「居場所空間」をコンセプトにした運営により、市内外のあらゆる年代層が集い、来館者数が2年連続で年間300万人を超える施設となっている。



渋谷区文化総合センター大和田は、平成22年1月、小学校の跡地にオープンした。地下1階、地上12階、延べ床面積27,402㎡の中に、さくらホール（735席）、伝承ホール（345席）、多目的アリーナ、図書館、こども科学センター、区民健康センター、保育園、男女平等・ダイバーシティセンター等を有する複合施設である。特に、最上階にあるコスモプラネタリウム渋谷（120席）は、ドーム型の外観で、渋谷駅周辺のランドマークとなっている。また、施設の運営は、平成29年4月から、3社の共同企業体「しぶや文化創造グループ」による指定管理部分と直営の部分が共存する形となっている。

5 委員長所感

大和市文化創造拠点シリウスでの視察では、建築物のコンセプトに共感でき、特に、専門性を持つ企業共同体による指定管理の方法について大変参考になった。指定管理の年間予算が約7億8,900万円とのことであったが、本市の敷地面積や計画規模と比較し、年間来館者数が300万人を超えることを想定すると、決して高いのではない運営費であると感じた。

渋谷区文化総合センター大和田の視察では、「委託」と「指定管理」制度とのメリット、デメリットを知ることができ、参考になった。また、シリウスとの比較になるが、指定管理制度と直営を導入することのメリット、デメリットの有無も理解できた。特に、プラネタリウムの運営については、運営の創意工夫については大変参考になり、今後、本市のプラネタリウム移設計画を考える中で生かしていく必要性を感じた。